

英語でアートを体験するワークショップ 開催報告

2017年7月18日 修学支援部門

1) 目的:

- ①アートによって自分を表現し、
「自らのオリジナリティ, 創造性」, 「他者との違い」,
「多様性」に気付くきっかけを作る。
- ②東工大大学院授業の英語化に向けて,
気楽に英語で聴講出来る正課外セミナーを作る。
- ③英語使用学生が参加しやすく,
日本語使用学生と交流可能な正課外セミナーを作る。
- ④理工系科目の正課や研究で忙しい東工大の学生が,
ほっとできるセミナーを作る。



2) 開催概要:

日時: 2017年5月23日(水) 13時~16時(講義+ワークショップ)

講師: Zuse Meyer 先生 (ベルリン出身アーティスト, 元東工大非常勤講師)

受講生: 6名 (+修学支援部門 鈴木, 伊東, 岡田も参加)

<内容>

①Paul Klee に関する英語レクチャー



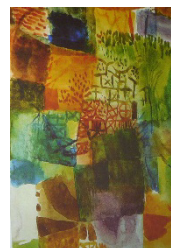
(Tea time)

②絵を描くウォーミングアップ

黒い線で目の前の静物(植木ポットに入った花)を描く。一筆書き, 利き手でない手で描いてみることで, 「うまく描こう」という意識から自由になる体験をする。

③抽象と具象の間の往復, 「色は喜び」を体験する

スクリーンに映写された Paul Klee の抽象画「ある庭の記憶」のイメージ, 目の前のカラフルな花(植木ポットに入った花), 両方から, 「自分の庭」をイメージし, クレヨンで画用紙に表現する。
(色と音が共鳴することを狙って, バッハの音楽を聴きながら。)





④全員でお互いの作品を講評



3) 受講生アンケート結果：添付資料参照

4) セミナーの講評

受講生は、英語使用学生 2 名＋日本語使用学生 4 名，女子 2 名＋男子 4 名，B1～B4 各 1 名＋M2 2 名，専門もさまざまと，少人数ながら多様性に富んだグループになった。

Meyer 先生は東工大で非常勤講師をされていたご経験があり，英語での講義中，適宜学生に英語で質問を投げかけてくださり，日本語使用学生は必ずしも英語が流暢ではなかったが，一生懸命英語での受け答えを行い，「意外に英語でもやっていける？」という自信につながった学生もいたようだ。

講義に続くワークショップでは，Klee の抽象画と，目の前の具体的な花を両方示された上で「自分の庭」を表現するというお題に対して，抽象度の高い構図をカラフルに表現する学生，具体的な花を丁寧に描いていく学生，その中間を狙う学生等々，多彩な作品が揃うことになった。

最後の講評では，Meyer 先生のアシレーションのもと，「良し悪し」「上手下手」ではない，それぞれの良さ，オリジナリティ，創造性に，お互いが気付き認め合うことが出来た。他人の作品を見て即座に英語でコメントをする経験は，将来の専門分野でのディスカッションの基礎訓練にもなると思われる。

受講者のバックグラウンドが多様で，かつ，英語での講義ということで，講義の内容理解のレベルは個人間で大きな差があったと思われる。一方で，絵や花のイメージ，それをもとに個人が表現を行うアートの活動は，バックグラウンドの多様性や内容理解のレベルを超えてみなで共通の体験を共有できる貴重な活動で，参加者はみな，多様性への共感にとって大切な「人として共通する何か」の感覚を感じることが出来たのではないだろうか。

受講生のコメントからも，それぞれの興味関心に沿ってセミナーの目的をよく理解してくれたことが伝わってくる。学生からの追加開催のリクエストも多いので，今後の開催もぜひ検討したい。

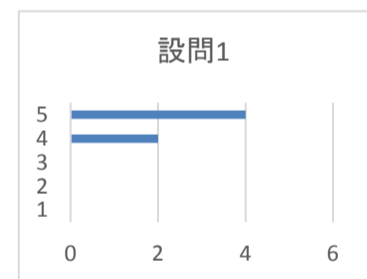
以上

アンケート結果

	学年	所属	感想	今後の希望	このセミナーを何で知ったか？
①	B3	制御システム	It was really exciting ! I want to participate in seminars like this next time	さまざまなセミナー	図書館入口の掲示
②	B4	情報工学	新鮮な経験であった。工学で通常できない世界を知れるのでよい。		メールニュース
③	B2	機械系	自分は機械系の学生なので、設計図やラフスケッチを描くことはよくあるが、今回のように自らの感情を表現することはなかった。そのような点で、普段しない、しようとしなかった体験ができてよかった。これからも機会があれば描きたいと思う。	もっと広報をしてほしいです！	②学生から聞いた(②・④学生とは短期留学を通じた友人)
④	B1	7類	左手で何かを描くことで、何かはじけたような感じがした！ Thank you for holding this workshop !!		②学生から聞いたと思われる
⑤	M1	材料	このようなセミナーがあるなんて知らなかった。参加できてよかったです。英語もなんとかしたかったし、アートも興味があったので、テーマとしてとてもよかったです。	こんな風な体験もできる、実際に作ったりまですることができるのが、とてもよいと思います。	伊東先生が授業で配布したセミナーチラシ
⑥	M1	Global Engineering for Development, Environment and Society	Thank you for today it was very interesting for me and thank you for cup of tea with chocolate it was Oishi.	I hope this kind of seminar continue and please add workshop in different types of painting material like oil color, acrylic color and... I really like to learning to paint human body, human figure and human face.	伊東先生からのメール

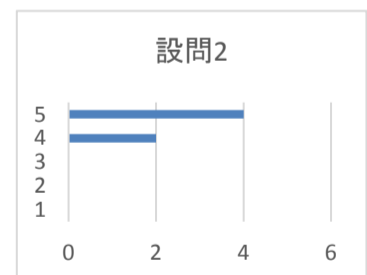
設問1) セミナーは有意義だった。

- 5: 強くそう思う
- 4: そう思う
- 3: どちらでもない
- 2: そう思わない
- 1: 強くそう思わない



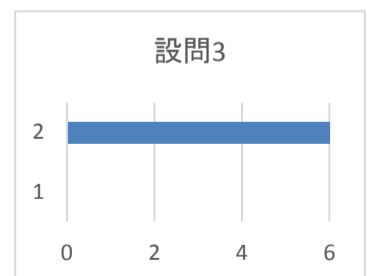
設問2) 講師の話し方は、理解しやすかった。

- 5: 強くそう思う
- 4: そう思う
- 3: どちらでもない
- 2: そう思わない
- 1: 強くそう思わない



設問3) 参加しやすい開催日時であった。

- 2: そう思う
- 1: そう思わない



設問4) 学生支援センター修学支援部門(80年記念館1階 学修コンシェルジュ窓口)で、さまざまな相談ができること(ワンストップ窓口)を知っている。

- 3: 知っている
- 2: 知らない(80年記念館に学修コンシェルジュ窓口があることは知っていた)
- 1: 知らない(80年記念館に学修コンシェルジュ窓口があることも今日知った)

